

製品名: VEGI ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19778**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFSF15
別名	TNFSF15; TL1; VEGI; Tumor necrosis factor ligand superfamily member 15; TNF ligand-related molecule 1; Vascular endothelial cell growth inhibitor
遺伝子 ID	9966.0
SwissProt ID	O95150
免疫原	抗血清はヒト TNFSF15 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

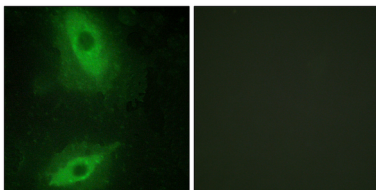
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腫瘍壊死因子 (TNF) リガンドファミリーに属するサイトカインです。このタンパク

質は内皮細胞に豊富に発現していますが、B細胞やT細胞には発現していません。このタンパク質の発現はTNFおよびIL-1 α によって誘導されます。このサイトカインは、受容体TNFRSF25およびデコイ受容体TNFRSF21/DR6のリガンドです。NF- κ BおよびMAPキナーゼを活性化し、内皮細胞でアポトーシスを誘導するオートクリン因子として作用します。また、このサイトカインは内皮細胞の増殖を阻害することも分かっており、血管新生阻害薬として機能する可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2011年2月]、機能：TNFRSF25およびTNFRSF6Bの受容体。NF- κ Bの活性化を媒介します。血管内皮細胞の増殖および血管新生を阻害する (in vitro)。カスパーゼの活性化およびアポトーシスを促進する。誘導：IL-1 α およびTNF α によってアップレギュレーションされる。類似性：腫瘍壊死因子ファミリーに属する。サブユニット：ホモ三量体。組織特異性：内皮細胞に特異的に発現する。単球、胎盤、肺、肝臓、腎臓、骨格筋、膵臓、脾臓、前立腺、小腸、結腸で検出される。

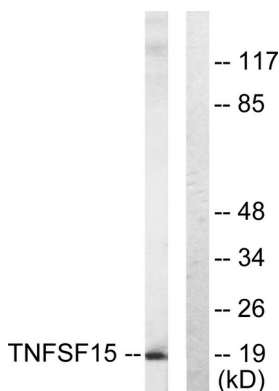
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

画像データ



TNFSF15抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



COLO205細胞ライセートのTNFSF15抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



VEG1ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。